（様式第2号）

SDGs達成に向けた宣言書（要件1）

宣　　言　　日　令和 3年　6月　25日
住　　所　川越市大字小中居991－1
県内企業等の名称　e-cubeホームテクノ株式会社
代表者役職　氏名　代表取締役　榎本広行

e-cubeホームテクノ株式会社　はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

まずは、住生活に携わる企業として、環境や社会、人に優しいの住まいづくりを目指し、実践します。特に、優れた環境性能と快適性を両立する製品やサービスを提供することにより環境負荷軽減につとめ、加えて、断熱性能向上のリフォームや高性能住宅（新築）の専門性も高め、住宅市場の活性化に貢献します。そして、多様性を尊重し、だれもが働きやすい企業を目指し、働き方改革や国内外の社会発展に寄与すべく投資を継続します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指　標
環境	【エネルギー消費量の削減】 事務所内の照明LED化、節電の意識をさらに高め、エネルギー消費量の削減につとめます。また太陽光発電設備も維持管理します。 〈2020年実績〉 電気使用量：約28，000kwh（川越拠点）	＜2030年に向けた指標＞ 電気使用量25%削減（2020年度比） ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 電気使用量15%削減（2020年度比）
社会	【年間休日確保とJICAに賛同】 ①働きやすい環境整備として、土日休みの固定化、年間休日の確保につとめる ②JICA（国際協力機構）が発行するソーシャルボンドへの投資 〈2020年実績〉 ①年間休日121日②JICA投資なし	＜2030年に向けた指標＞ ①年間休日126日確保＋有給休暇取得推奨5日/年 ②JICAへの投資継続　1000万／年 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ ①年間休日：126日確保　②JICAへの投資：1000万／年
経済	【住宅市場の活性化】 環境負荷軽減を図る住宅設備機器（玄関や窓の開口部や水回り設備等）を含んだ取扱い量増加に努めます。 〈2020年実績〉 売上12億8千万	＜2030年に向けた指標＞ 売上高2020年度比30%UP ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 売上高2020年度比15%UP

【記載留意点】
・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
・（様式第3号）SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項（要件2）に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
・指標は原則として数値目標を記載してください。
・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。